

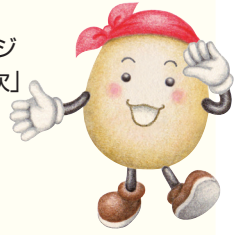
検討の観点と内容の特色



学習指導要領との関連

新教育課程・今日的な課題への対応

検討の観点	「新しい家庭」の特色	参照
家庭科の教科目標に準拠した基礎的・基本的事項が適切に取り上げられているか。	①学習指導要領の「家庭科の目標及び内容」, 「指導計画の作成と内容の取扱い」にしたがい, 基礎的・基本的事項をもれなく適切に取り上げています。	①教科書全ページ
家庭科学習のガイダンスを行うための適切な配慮がなされているか。	①教科書表紙と目次, 「家庭科を学ぼう」を使って, ガイダンスが行えるような構成にしています。「家庭科を学ぼう」では, 4年生までの学習との関連を示すとともに, 家庭科の学習方法を示しています。 「①見つけよう」→「②計画しよう・活動しよう」→「③生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで「生活に始まって生活に返す」問題解決型の学習が展開できるように配慮しています。 ②目次は, 2年間の指導計画が見通せるような示し方をしています。上段が5年生, 下段が6年生の学習の流れを示し, それぞれの学年に目標(5年生「できることを増やしていこう」, 6年生「力を高め, 周りの人も笑顔にしよう」)を設定し, ストーリー性のある指導計画を提示しています。 ③冒頭のガイダンスで示した3ステップの構成は, 各大題材の構成と一致しています。すべての大題材が3つの小題材からなり, 第1小題材は「①見つけよう」→第2小題材は「②計画しよう・活動しよう」→第3小題材は「③生かそう・新しい課題を見つけよう」の内容から構成しています。 ④学習したことを自己評価し, 自己の成長を感じられるように, 「成長の記録」, 「これからの私たち」で学習のふり返りの場を設けています。	① p.4-5 「家庭科を学ぼう」 ②巻頭ページ-p.2「目次」 ③全大題材 ④ p.3,127
他教科や中学校の学習内容との関連が適切に示されているか。	①中学校への学習に意欲を持ち, かつ円滑に接続できるように見通しを持つ場を設けています。 ②他教科の学習内容を想起させることで, 知識・技能の活用資するよう配慮するとともに, 中学校技術・家庭 家庭分野との学習内容の関連を示すために, 「関連マーク」を入れています。	① p.113 ②▶他教科との関連 p.10, 28, 50, 81 ほか ▶中学校との関連 p.77 ほか
生活を支える基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができるよう配慮されているか。	①基礎的・基本的な内容の定着のため, 学習の目標と評価を重視しています。各小題材の始めに「学習のめあて」を示し, 各小題材末にはそれに呼応した「ふり返ろう」を設けてこまめに学習をふり返り, 学習内容が定着するようになっています。 ②各実習には, 「これだけではできるようになる」の囲みを入れています。実習にあたっての目標としても, 実習後に評価としても活用でき, より確実な技能の定着を図ることができます。 ③基礎的・基本的な知識をおさえるために, 本文中の家庭科における重要語句について, 太字で目立つように示しています。 ④基礎的・基本的な技能をおさえるために, 最低限身に付けてほしい技能を「いつも確かめよう」の囲みで示しています。目次では, 「いつも確かめよう」を一覧で示し, ガイダンスを行う時点で把握できるようにしています。 ⑤基礎技能として取り上げている「いつも確かめよう」は, 単なる技能習得に終わらないように, 実習とセットで取り上げ, 実際の生活場面で生かせるよう配慮しています。	①「学習のめあて」と「ふり返ろう」 p.12と13, p.42と43 ほか ② p.15, 23, 31, 33, 41, 47 ほか ③ p.12, 28, 40, 46 ほか ④巻頭ページ, p.13, 22-23, 55-57, 94-95, ほか ⑤ p.10, 15, 49, 59 ほか
実践的・体験的な活動を通して自分の成長を自覚するよう配慮されているか。	①実践的・体験的な活動を促すように, 座学が多くなりがちなところにも「DO! 活動」を入れて, その内容を具体的に示しています。 ②「成長の記録」では, 家庭科の基礎技能をチェックすることで, 自己の成長が明確に分かるようにしています。あわせて, 家族・家庭生活の内容についてもふり返りの視点を示しています。「これからの私たち」では, 自己の成長と未来の自分をイメージさせ, 自ら学び成長できるように工夫しました。	① p.6, 7, 8, 11, 36, 37, 38, 40, 42, 43 ほか ② p.3, 62, 112, 127
身に付けた知識や技能を生活に活用できるように配慮されているか。	①第3小題材の「③生かそう・新しい課題を見つけよう」およびその「DO! 活動」では, 学習内容を生活に結びつける方法例を具体的に示しています。 ②生活の中での実践課題と実践結果をまとめるための「ワークシート例」を多数取り上げています。 ③夏・冬の長期休みに取り組み課題として, 「自由研究」を設けています。「自由研究」の内容は, それまでの学習を生かし, 季節を意識しながら, 家族とのかかわりを深めるような内容にしています。	① p.11, 24, 35, 107 ほか ② p.27, 35, 55, 63, 71 ほか ③ p.25, 51, 81, 101
家庭生活を大切にしている心情をはぐくみ, 家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てるよう配慮されているか。	①家族や家庭生活は, 子どもの生活の基盤となるという考えから, すべての大題材で家族や家庭生活と結びつくよう配慮しています。学習した知識や技能をもとに, 生活の中で生かす視点を入れたり, 家族のための製作を示唆する内容を示したりしています。 ②家族とともに過ごしたり, 男女が協力して家庭生活を営んだりする様子を示す写真やイラストを取り上げています。	① p.35, 71, 100 ほか ② p.6-7, 9, 26, 36-37, 108 ほか
食育について, 家庭科がその充実に資するような配慮がなされているか。	①家庭科で扱う食育「調理の技能」「朝ごはん」「栄養」「共食」を丁寧に扱っています。 ②学校給食とも関連付けて指導ができるよう配慮しています。 ③食育に果たす家庭科の役割の重要性に鑑み, 食の内容が系統的に繰り返し学習できるように配慮しています。第4大題材では五大栄養素と3つの働きの学習, 第9大題材では栄養素と食品の関係の学習, 第12大題材では1食分の献立作成の学習ができるように, 教科書全体で段階を追って展開しています。 ④生活リズムを作るためには, 食事が重要な役割を果たすことから, 食生活を見直すとともに, 特に朝食の摂り方を具体的に考えられるようにしています。 ⑤食事の役割として, 人といっしょに食べることやマナーについても取り上げています。	① p.13, 15, 28, 66, 94-95, 114-117 ほか ② p.27 ③ p.28, 66, 94-95 ④ p.64-65 ⑤ p.100 ほか
消費者教育・環境教育について, 生活の中で実践する観点から, 適切な取り上げ方をされているか。	①消費者教育を重視し, 第5大題材で独立して扱い, 消費者としての基本的な知識や態度が身に付くよう配慮しています。 ②日常生活における消費者としての態度を考えられるように, 献立の材料の準備とリンクさせるなど, 衣や食の内容と結びつける視点を入れています。 ③持続可能な社会を実現するために, 自分にできることを考え, 実践に結びつける視点を養うため, 「持続可能な社会をめざして」の巻末ページを設けています。 ④第5大題材では消費者としての態度の育成に資するようし, 第6大題材では物を生かす視点から環境の内容を取り上げるなど, 買い物の際に環境に配慮する視点を示しています。 ⑤環境への配慮を生活のあらゆる面と結びつけて考え, 実践できるように, 随所に「環境マーク」で具体的な内容を示しています。	① p.36-43 ② p.96-97 ③ p.128- 巻末ページ ④ p.36-43, 50 ⑤ p.13-15, 75, 78, 97, 99 ほか
安全面, 衛生面について,十分に配慮されているか。	①調理実習や製作実習における器具・用具の扱い方, 作業上の安全, 衛生面など, 安全に注意すべき点は丁寧に解説し, 「安全マーク」を付して, 注意を喚起するようになっています。	① p.10, 19, 49, 95, 106 ほか



関連

いつも確かめよう



検討の観点	「新しい家庭」の特色	参照
教育基本法や道徳教育との関連から、伝統・文化や家族とのかかわりについて学習できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 家庭科の学習内容に関する伝統的な内容は、「日本の伝統マーク」を付して取り上げています。 ② わが国の伝統的な日常食である米飯とみそ汁については、資料を充実するとともに、確実に学習が身に付くように、実習の流れがひと目で分かるように示しています。 ③ キャリア教育に対応し、勤労を重んずる態度を養うために、家庭科の学習内容に関連した職業を取り上げ、「プロに聞く！」の囲みを設けています。 ④ 家庭生活を大切にすることをめぐむために、自分の生活や家庭の仕事を見直したり、家庭の仕事に役立つ知識や技能を身に付けたりすることで、道徳教育で扱うところの家族を敬愛し、家族の役に立つことをしようとするように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① p.11, 34, 59, 101 ほか ② p.30-33 ③ p.29, 42, 91, 95, 97, 106, 107 ④ p.6-11, 25, 51, 62-63, 81, 101, 108-113 ほか <div style="float: right; text-align: right;">   </div>
日常的に防災に関する意識が高まるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① ふだんの生活の中で、災害に備えられるように「日々の備え」という囲みで防災の内容を取り上げ、意識が高まるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① p.24, 31, 51, 81 <div style="float: right; text-align: right;">  </div>
言語活動を充実し、基礎的・基本的な知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力をめぐむよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童の発達段階を考慮し、文章を読み取る力を養うために、本文の分量を充実させています。また、家庭科で扱う重要語句を太字で示し、基本的な用語が理解できるように配慮しています。 ② 家庭科の用語は、実感をともなって理解できるように説明や図、写真を加えてわかりやすく示したり、注釈を付けたりしています。 ③ 国語科の指導との関連や児童の発達に十分配慮し、4年生までの配当漢字を使用するとともに、6年生までの配当漢字は、ふりがなを付して使用しています。 ④ 表現力を伸ばすように、学習の振り返り場面や「自由研究」では、レポートの記入例を示して自分の言葉で表現するように促しています。 ⑤ 実習するだけに終わらず、自分の思いや気付きを表現し、伝え合う活動を取り上げています。 ⑥ 家族や地域の人への気持ちを伝えることを促して、コミュニケーション力を高めたりする工夫をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 教科書全体の本文 ② p.16, 30-31, 69, 78-79 ほか ③ 教科書全体の本文 ④ p.17, 25, 43, 51, 84-85 ほか ⑤ p.17, 24, 38, 46, 70, 74, 110 ほか ⑥ p.110
大題材の配列は、児童の発達に配慮するとともに、系統的に学習が展開できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 家庭生活をよりよくする観点から、すべての大題材に、学習指導要領の内容「A 家族と家庭生活」の視点、「D 身近な消費生活と環境」の視点を入れるとともに、A～Dの内容を総合的に扱う例も取り上げています。例えば、内容Bの1食分の献立を考えることを扱う大題材に、家族のための献立例を示し、家族と楽しく食事をする視点や、環境に配慮しながら買い物、調理をする視点を入れるなどの工夫をしています。 ② 学習内容、実習内容とともに、基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列しています。基礎技能「いつも確かめよう」は、その多くを5年生で学習するよう配分しています。調理実習の手順やミシンの使い方など、5年生で学んだ技能を6年生で再度使うことで、より確実な定着を図るようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① p.92-101 ほか ② p.13, 15, 20-21, 22-23, 39, 55-57 ほか <div style="float: right; text-align: right;">  </div>
本文・イラスト・写真・図表等は、適切に配分、構成されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 本文・イラスト・写真・図表の配分は適切で、かつ関連を持たせて構成しています。 ② 関連のある題材や資料がほかのページにある場合には、「リンクマーク」で適宜参照ページを示しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① p.6-7, 28, 66 ほか ② p.3, 15, 22, 108 ほか <div style="float: right; text-align: right;">  </div>
大題材の配列は、地域や学校の実態に応じた指導に生かせるように配慮されているか。また、2学期制への対応に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 大題材の配列を組み替えることで、地域や学校の実態に応じた指導ができるようにしています。また、2学期制にも対応できるように配慮しています。 ② 活動例や実習例を豊富に提示することで、地域や学校の実態に応じて、選択して指導できるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 目次、「年間指導計画案・学習指導要領との関連」表を参照。 ② p.14-16, 58-61, 68-69, 86-89 ほか
内容の分量や程度は、児童の発達に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 各大題材の配分・分量は、時数、学期、学年配分や学期制などから見てかたよりがなく、適切です。 ② 児童の発達段階に配慮し、活動例や実習例は、日常生活に生かせる物を重点的に取り上げています。また、児童の思いや願い、多様な個性に応じた活動に配慮し、実習例を豊富に示しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「年間指導計画案・学習指導要領との関連」表を参照。 ② p.14-16, 58-61, 68-69, 86-89 ほか
レイアウトは見やすい工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 判型は AB 判を用い、ページを開いたときの横の広さを生かして、特に実習は横に流れるレイアウトを工夫しています。一つの実習を見開きで概観することができるため、開いた状態で見ながら実習できるレイアウトになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① p.14-15, 30-31, 32-33, 46-47, 58-59 ほか
学習意欲の喚起を促す工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童が意欲的に学習に取り組めるように、イラストや写真、レイアウトを工夫し、楽しい紙面になるように配慮しています。 ② 児童の学習を導く「タマ号」のイラストを入れて、フキダシで学習のポイントを示唆するようにして、学習内容がより深く理解できるようにしています。 ③ 児童と等身大の子どものキャラクターによって、親近感を持たせ、かつ自分自身の課題を投影して考えることもできるようにしています。 ④ 各大題材の導入では、児童に身近な家庭や学校の場面を写真やイラストで大きく示し、自分なりの課題を持って学習に取り組めるように工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① p.8-9, 36-37, 64-65 ほか ② p.17, 27, 39, 71, 75 ほか ③ 目次ほか ④ p.12-13, 36-37, 44-45 ほか
人権・福祉、特別支援教育、色覚特性などについて配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 幼児や高齢者、障がいのある人々、外国人とのかかわりを通して、共生の視点に気付くことができるように配慮しています。 ② さまざまな発達特性に配慮するため、本文と資料部分が明確に区別できるように、太い野線を使う、背景に色を付けるなどの工夫をしています。また、実習の流れをつかみ、安全に作業が進められるように、実習のページは横の流れで統一しています。 ③ カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得て、原稿段階で全ページの配色や色にかかわる表現を検証し、色覚の特性にかかわらず見やすい紙面になるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① p.37, 108 ほか ② p.14-15, 22-23, 86-87 ほか ③ p.73, 98, 99 ほか
児童が使いやすい造本的な工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 幅広の判型を用いることで、情報量を充実させて資料性、視覚的効果を高め、学習の流れが把握しやすい紙面になるように工夫しています。また、ランドセルや机、道具箱への収納にも十分配慮をしています。 ② イラストや写真の色調は鮮明で、活動の楽しさを伝え、意欲を引き出すことに資するものを使っています。開いた状態が保ちやすいため、実習時などに有効であり、かつ持ち運びに配慮した専用紙を開発して使用しています。 ③ 2年間の使用に十分耐えるよう、表紙には、汚れにくく、防水効果、強度の高い加工（PP加工）を施し、強力な接着剤を用いて製本しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① p.55-57, 114-124 ほか ② 教科書全体 ③ 表紙

一緒に学習をする
キャラクター

